

R5年度 上田市立丸子北小学校 学校関係者評価

学校教育目標	めざす子どもの姿	総合評価
1 仲良く助け合う子 2 進んで学び、自分の考えが言える子 3 最後までやり抜く子	○自分やまわりの人を大切にする子ども ○しっかり考え、自分から動ける子ども ○力を合わせて粘り強く追究する子ども	・目標に向かい職員、児童が同じ方向を向いて努力している。 ・ボランティアの体制ができて始めている。 ・進歩を、子ども、保護者、職員が共有できるようにしていくとよい。

分野	評価項目	評価の観点	学校関係者評価					
			A	B	C	D	校関係評価者によるご意見	
重点目標	① 学び合い学習と学力向上	「学力向上」に向けて、日々の授業を見返し、改善してきたか	○					・子どもたちが「学校は楽しい」と答えている数が90%以上であり、すばらしい。 ・挨拶は校内校外ともよくしている。コロナの影響もあり、校外でしてこなかった時期が長かったこともあり、挨拶に慣れていない子ども達もあるのでしょうか。
	② 心みがき清掃	「自分自身と向き合い自分を成長させる時間」になるよう取り組んできたか	○					
	③ 自分から進んで挨拶プラス	「言葉遣いやマナーを意識した主体的な挨拶を実践」できるよう取り組んだか。		○				
	④ 居心地の良い学級づくり	「お互い認め合う学級づくり」をめざし、工夫してきたか。	○					
教育指導	基礎的な学力の定着	学力の向上をめざし、子どもたちが「わかった」「楽しい」を実感する授業を実施してきたか		○			・毎時間の学習問題の設定や、考え、話し合う、みんなで追究し合う授業などの工夫が見られる。 ・コロナ禍を過ごした子どもたちが多い小学生にとって、個ではなく、集団の中にいる自分を考え、行動していけることを願う。	
		授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら、学年に応じた指導をしているか。		○				
教育活動	より良い人間関係づくり	子どもたちが楽しい学校生活を送れるように、一人ひとりが存在感をもち、学び合える雰囲気のある学級づくりを行っているか。	○				・水曜日の朝の遊びの様子を見ると楽しそうに遊んでいる。日常的なこうした場がよい。 ・一人ひとりの児童に受容的に接し、その子に応じた関係作りを今後も続けてほしい。 ・1つの学級に複数の先生方が関わっている様子が見られる。いろいろな目で子どもを見ていきたい。	
		子どもたちが、安心して生活できるように、学級の人間関係に敏感になり、児童の心に寄り添った支援をしてきたか。		○				
学校連携	学校からの情報発信	学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、「学校便り・学年便り・ホームページ」等で、学校の様子を伝えているか。		○			・コロナ禍が明け、学校としての活動が活気づいたことを感じた。 ・保護者の評価も高く、適切だと思う。SNS を使った発信の工夫が必要だと思う。 ・信号から校門までの道路及び体育館駐車場での朝夕の送り迎えについて保護者ととも考えなければならぬ。	
	安全安心対策	学校は、毎日の下校指導や地域の「安全見守り隊」と連携して、事故防止や安全指導を進めているか。		○				
運営	研修	授業改善と児童理解	○				・保護者アンケートで多くが適切と答えている。支援会議が何回も開かれていることも、相互理解が深まる要素になっていると思う。	
	職員	職員の綱紀粛正	○					
	相談支援	子どもや保護者への教育相談	○					

○評価基準 = A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった